

CODE : 7771

**NI** NISSEY GROUP

2015年3月期 第2四半期 決算説明資料 2014年11月



日本の“ものづくり技術”を世界へ。

Watch Band & Glass Frame

# 会社概要 (2014年9月30日現在)

- ◆ 社 名 : 日本精密株式会社 (Nihon Seimitsu Co., Ltd.)
- ◆ 住 所 : 埼玉県川口市本町4-1-8 川口センタービル8
- ◆ 設 立 : 1978年8月
- ◆ 上 場 : 東京証券取引所JASDAQ市場 (1997年9月25日)
- ◆ 代表取締役 : 岡林 博
- ◆ 事業内容 : 時計バンドの製造、販売, メガネフレームの製造、販売, イオンプレーティング (表面処理加工)、釣具用部品、静電気除去器、その他製品の製造、販売
- ◆ 連結子会社 : 3社、関係会社1社
- ◆ 従 業 員 : 3,281人(連結)
- ◆ 決 算 : 3月
- ◆ 資 本 金 : 1,565百万円(※)
- ◆ 発行株式数 : 15,423,999株(※)
- ◆ 株 主 数 : 1,586名



(※)2014年11月21日の第三者割当増資の実施により発行済株式数は17,661,999株となっております。  
また、それに伴い資本金は1,715百万円となっております。



1. 2015年3月期 第2四半期 業績概要

2. 2015年3月期 業績予想

3. 今後の戦略

# 2014年3月期 2Q累計 連結業績

単位:百万円	2014/3期 2Q累計実績	2015/3期 2Q累計実績		
		実績	増減額	増減率
売上高	3,337	3,683	+346	+10.4%
売上総利益	795	900	+104	+13.2%
売上総利益率	23.8%	24.4%	+0.6p	—
販管費	792	840	+47	+6.0%
販管費比率	22.7%	22.8%	+0.1p	—
営業利益	3	60	+57	大幅増加
営業利益率	0.1%	1.6%	+1.5p	—
経常利益	△9	96	+106	黒字転換
経常利益率	△0.3%	2.6%	+2.9p	—
当期純利益	△12	78	+91	黒字転換
当期純利益率	△0.4%	2.1%	+2.5p	—

# 報告セグメントの状況(連結)

## 報告セグメント別売上高

2Q累計	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3
時計関連	1,456	1,819	1,660	2,147	2,552
メガネフレーム	806	929	835	1,034	940
その他	168	180	163	154	190
連結売上高	2,431	2,930	2,660	3,337	3,683

## 報告セグメント別利益

2Q累計	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3
時計関連	27	138	14	74	124
メガネフレーム	△55	12	△68	△74	△83
その他	△4	5	△2	△6	15
報告セグメント外	26	17	10	9	2
セグメント利益	△5	181	△46	3	60

# 2015年3月期 2Q累計 連結業績の概要

**連結売上高** 受注好調に加え、円安効果もあり前年同期比で大幅増収

## ◎時計関連

- ・顧客製品の販売好調による更なる増産に伴って、当社へ対する新規及びリピートオーダーが増加。さらに円安効果も加わり大幅増。また、当社製品の品質・技術レベルの高さが認知され、高級品向け製品も増加。

## ◎メガネフレーム

- ・(株)村井のブランド・フレーム部門は、消費税増税による買い控えの影響はあったものの、海外向け売上の増加や、主力ブランドの販路見直しなどにより、前年同期比で増加。
- ・本体のOEM製品部門は、消費税増税の影響により大手チェーン店からの受注減少により、前年同期比で減少。

**連結営業利益** 時計関連が牽引し前年同期比で増益

## ◎時計関連

- ・円安ドン高によるベトナム工場の人件費増や、カンボジア工場の立上げ費用が発生したものの、増収効果による粗利益の増加により、前年同期比で大幅増。

## ◎メガネフレーム

- ・(株)村井の円安による仕入コスト上昇等や、円安ドン高によるベトナム工場の人件費増などにより減益。

**連結経常利益** 為替差益54百万円が発生し、黒字転換

- ・上記の営業利益の増加に加え、為替差益54百万円の計上等により営業外収支が好転し、黒字に転換。

# B/S、CFの状況(連結)

単位:百万円	2014/3末	2014/9末
<b>流動資産</b>	<b>2,618</b>	<b>2,921</b>
現預金	781	776
受取手形・売掛金	861	893
たな卸資産	896	1,152
その他	78	98
<b>固定資産</b>	<b>1,840</b>	<b>2,002</b>
有形固定資産	1,234	1,382
無形固定資産	472	475
投資その他の資産	134	145
<b>繰延資産</b>	<b>24</b>	<b>58</b>
<b>総資産</b>	<b>4,484</b>	<b>4,981</b>
<b>流動負債</b>	<b>1,435</b>	<b>1,837</b>
支払手形・買掛金	568	745
短期・1年内長期借入金	700	840
その他	167	251
<b>固定負債</b>	<b>1,307</b>	<b>1,312</b>
長期借入金	1,203	1,197
その他	104	114
<b>純資産</b>	<b>1,740</b>	<b>1,831</b>
株主資本	1,737	1,816
その他の包括利益累計額	3	15
<b>負債純資産合計</b>	<b>4,484</b>	<b>4,981</b>

単位:百万円	2014/3期 2Q累計	2015/3期 2Q累計
<b>営業キャッシュ・フロー</b>	<b>64</b>	<b>45</b>
税前当期純利益	△9	96
減価償却費	63	76
売上債権の増減額	24	△31
たな卸資産の増減額	△115	△254
仕入債務の増減額	98	176
その他	32	7
<b>小計</b>	<b>92</b>	<b>72</b>
利息及び配当金の受取・支払額	△18	△20
法人税等の支払額	△10	△6
<b>投資キャッシュ・フロー</b>	<b>△598</b>	<b>△195</b>
<b>フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>△533</b>	<b>△150</b>
<b>財務キャッシュ・フロー</b>	<b>358</b>	<b>122</b>

## 資産の主な増加要因

- ・流動資産: たな卸資産 +294百万円  
時計関連の好調に伴う仕掛品・原材料の増加
- ・有形固定資産: 建物構築物 +252百万円  
機械装置 +177百万円  
カンボジア工場の竣工及び機械設備の導入  
ベトナム工場の自動化・半自動化設備の導入
- 建設仮勘定 △301百万円  
カンボジア工場の竣工により建物構築物へ



1. 2015年3月期 第2四半期 業績概要

2. 2015年3月期 業績予想

3. 今後の戦略

# 2015年3月期のポイント

## 事業

### ◎ カンボジア工場の導入・拡大ピッチの早期化

- ・カンボジア新工場の本格化に向けて、従業員の技術教育のスピードをアップ。
- ・時計関連製品への受注拡大が続く中、当初の計画よりも前倒して、品質の安定化、製造ラインの拡大、生産量の増加を図り、早期の戦力化を図る。

### ◎ 時計関連

- ・高級腕時計バンドの受注が拡大。生産量拡大・製造技術の高度化対応するため、ベトナム工場の金型生産能力の増強、自動化・半自動化を推進する。

### ◎ メガネフレーム

- ・(株)村井のブランドフレームにおいて上半期に新たな3ブランドを投入。付加価値商品の投入により、高価格・高利益率の商品中心での展開を図る。

## 業績

### ◎ 連結売上高

- ・時計関連が好調に推移し、過去最高を更新する見込み。

### ◎ 営業利益/経常利益

- ・営業費用増を吸収し、前期比増加を見込む。

### ◎ 当期純利益

- ・経常利益の増加により前期比増加を見込む。

# 2015年3月期 連結業績予想

単位:百万円	2014/3期 実績	2015/3期 予想		
		予想	増減額	増減率
時計関連	4,521	5,046	+525	+11.6%
メガネフレーム	2,188	2,450	+262	+12.0%
その他	343	380	+37	+10.8%
<b>売上高</b>	<b>7,054</b>	<b>7,877</b>	<b>+824</b>	<b>+11.7%</b>
時計関連	250	167	△83	△33.2%
メガネフレーム	△152	△14	+138	赤字額縮小
その他	21	28	+7	+33.3%
報告セグメント外	14	8	△6	—
<b>営業利益</b>	<b>134</b>	<b>189</b>	<b>+55</b>	<b>+41.0%</b>
<b>経常利益</b>	<b>123</b>	<b>161</b>	<b>+38</b>	<b>+30.9%</b>
<b>当期純利益</b>	<b>114</b>	<b>120</b>	<b>+6</b>	<b>+5.3%</b>

# 2015年3月期 2Q累計 連結業績の概要

**連結売上高** 時計関連が牽引し、前期比で2ケタ増収を見込む。

## ◎時計関連

- ・顧客の販売好調に伴った増産による、新規及びリピートオーダーの受注増が、下半期も継続。また、高級品向け製品についても増加を見込む。

## ◎メガネフレーム

- ・(株)村井のブランド・フレーム部門は、新ブランドの増販や海外向け売上の増加などにより、前期比で増加を見込む。
- ・本体のOEM製品部門は、下半期は消費税増税の影響による買い控えも一巡し、国内メーカー向け、大手チェーン店向けともに、提案営業による増加を見込む。

**連結営業利益** 増収効果により、カンボジア工場の立上げ費用等を吸収し、増益を見込む。

## ◎時計関連

- ・増収となる一方、ベトナム工場の増設や高級品向け製品の製造に向けた設備拡張、金型生産能力増強による消却額の増加や、カンボジア工場の稼働による人件費、償却額の増加により、セグメント利益は前期比減を見込む。

## ◎メガネフレーム

- ・(株)村井での付加価値商品の投入による粗利額の増加により、赤字額の大幅縮小を見込む。

# メガネフレーム事業についての補足

現在だけでなく、将来的な視点に立っても、メガネフレーム事業を継続していく必要があります。

## 現在 ベトナム工場全体のコスト低減

### ①工場稼働の平準化、安定化

受注状況に応じて、時計関連との間で機動的に人員をシフト。  
稼働状況を安定化することにより、工場にかかわる各種経費(光熱費・償却費)を平準化するとともに、ベトナム工場全体の労務費コスト増を抑制。

### ②原材料調達時のスケール・メリット

チタニウム等の原材料の調達時に時計関連と合わせて購入することで購買量の増加により平均仕入価格を低減。

## 変化に備えた布石、技術継承 将来

### 時計関連と同様の変化への備え

日系部品メーカーの  
中国進出の時期

1980年代～  
メガネ

時計  
1970年代～

35～40年が経過  
創業者が高齢化  
後継者難で廃業  
現在、当社事業が  
好調である背景

現在

4～5年後

時計の場合と同様の  
構造変化が予想される

その時に市場を取り込むためには、現在の事業を継続し、技術継承することが必要



# 業績推移

(百万円)

連結売上高の推移 過去最高を更新の見込み



期	2010/3期	2011/3期	2012/3期	2013/3期	2014/3期	2015/3期
売上高	4,193	5,180	6,002	5,585	7,054	7,877
営業利益	△39	207	334	103	134	189
経常利益	△56	156	295	105	123	161
当期純利益	△52	172	296	90	114	120



1. 2015年3月期 第2四半期 業績概要

2. 2015年3月期 業績予想

3. 今後の戦略

### 従来からのご説明

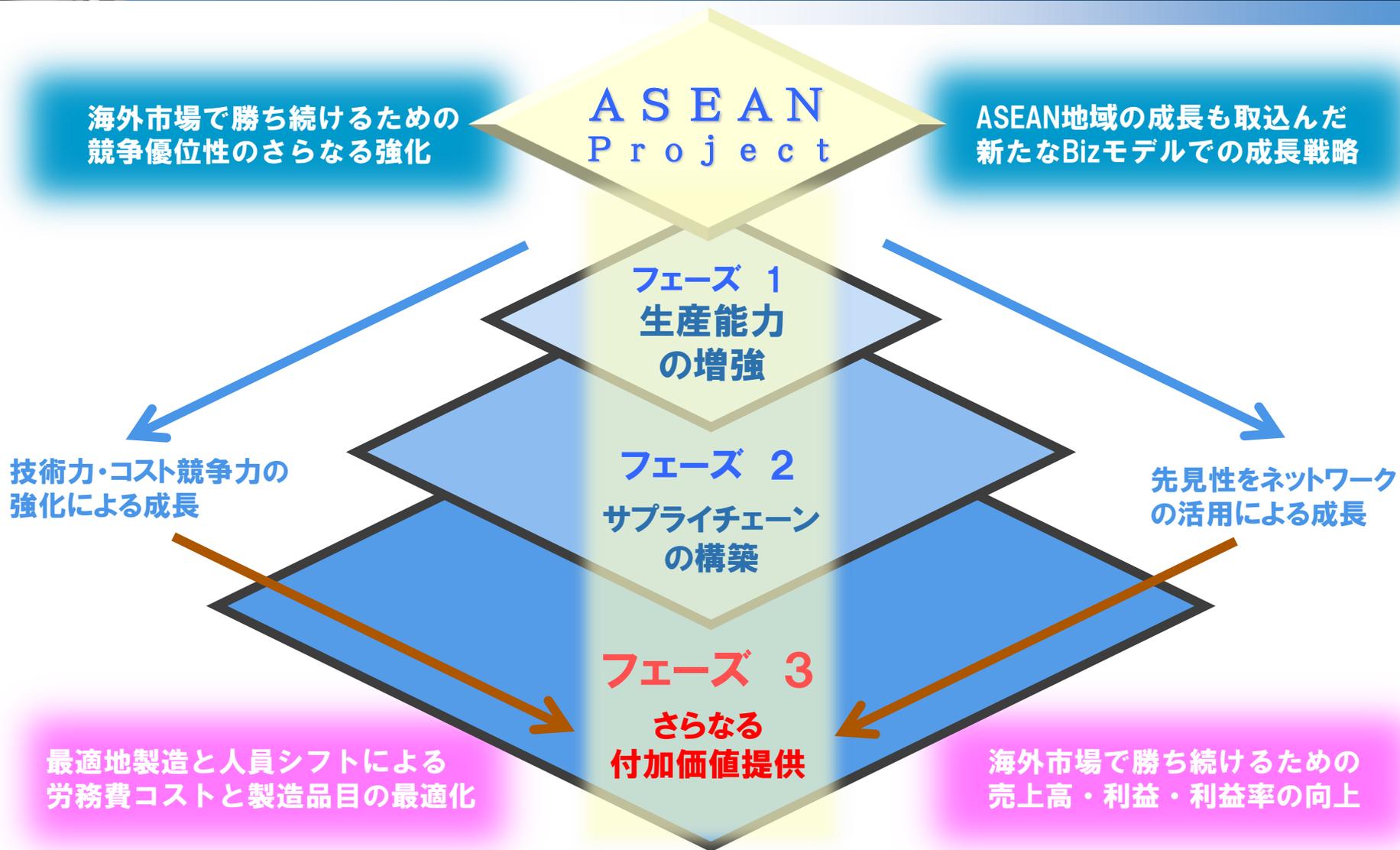
中国内の部品製造は、  
人件費高・元高などの  
要因で原価が上昇。  
価格上昇→競争力低下  
→廃業→供給力低下→  
価格上昇・・・  
という負の連鎖が  
起こっている。

また、中国では高齢化等  
による熟練工の不足が  
深刻化。  
時計関連・眼鏡関連の  
部品工場が、相次いで  
倒産・廃業する状態も、  
それに拍車をかけている。

日系メーカーだけでなく  
欧米メーカーについても  
今後の供給リスク・価格  
アップリスクを予想して  
新たな部品調達先を検討  
・模索している。

こうした構造変化に対して、単なる生産能力の増強ではなく  
戦略的に市場を困り込ませていくのが当社「ASEANプロジェクト」

# ASEANプロジェクトの概要



# フェーズ 1 生産能力の増強 カンボジア新工場の設立

# NISSEY

NISSEY Cambodia Co., Ltd



- 名 称** NISSEY CAMBODIA CO.,LTD.  
**操 業** 2014年 年初から  
**所 在 地** Dragon King SEZ, Prey Angkunn Commune,  
Bavet City, SvayRieng province, Cambodia  
ドラゴンキング SEZ、カンボジア国スバイリエン州  
バーベット市プレイアングン地区  
**代 表 者** 岡林 博  
**資 本 金** 5千万円  
**出 資 者** 日本精密株式会社(100%)  
**決 算 期** 12月31日  
**事 業 内 容** 時計外装部品等の製造、販売



## フェーズ 1 生産能力の増強

# カンボジア新工場にも導入する、当社の独自ノウハウ

熟練工が一人で担当していた工程を、独自ノウハウで細分化。増産がスピーディに可能であり、単純化による品質の安定化を計れる仕組みを、カンボジア工場にも導入。

- ・細分化の仕方
- ・配置人員数と労務コストの最適バランス化
- ・教育、育成ノウハウ

長年のノウハウ蓄積・実績を有しているからこそ出来る  
当社独自の製造ライン構築



●●●  
工程

▲▲▲  
工程

◆◆◆  
工程

■ ■ ■  
工程

- 熟練工が1人で行っていた工程を細分化
- 細分化した工程別に、一般ワーカーを教育
- 教育した一般ワーカーを、製造ラインに配置
- 教育期間が短いため、短期間で実際の製造開始
- 担当工程が少ないため、短期で『ミニ熟練工』化

中国型の熟練工中心の  
製造ライン



●●●  
工程

▲▲▲  
工程

◆◆◆  
工程

■ ■ ■  
工程

← 全ての工程を、1人の熟練工が担当 →

## フェーズ 1 生産能力の増強

# カンボジア新工場の早期戦力化へ向けた施策

他社では困難な早期戦力化の実現に向け、カンボジア工場では「仕組み」と「技術指導者」の導入を行っております。

### 仕組みの導入

既に製造している部品のため、その製造ラインの仕組みを、そのまま導入

ベトナム工場立上げ時のノウハウ導入

カンボジア工場



新人へのプレス作業実習

### 技術指導者の導入

両工場は近距離であるため、ベトナム工場の技術者を短期に、大量投入

ベトナム工場での技術指導ノウハウをそのまま投入



新人への研磨教育実習



機械操作の安全教育

当社ベトナム工場

## フェーズ 1 生産能力の増強

# カンボジア新工場が7月より稼働開始

2014年7月より  
本格稼働となり、  
製品製造を開始  
しております。



今後も、工場社員の技術向上、品質・精度のさらなる向上を図りながら増産体制を構築し、労働集約型製品の製造について、ベトナム工場からの早期移管を目指してまいります。

## フェーズ 1 生産能力の増強

# 基幹工場であるベトナム工場の強化

今後もASEANプロジェクトの核となるベトナム工場の強化に向けて、以下の施策を実施。

### ① 半自動化・オートメーション化

→ 既に一部設備については投資を開始

### ② 金型製作の強化

→ 今後の製造品目・数量の増加へ対応すると同時に、カンボジア工場用も一括製作し、原価率を低減

### ③ 高級腕時計バンドの製造

→ 顧客ニーズに応えた高付加価値製品の製造

- ・高級腕時計バンドなど高付加価値製品を製造
- ・『絞りベゼル』に加え、『鍛造ベゼル』の製造もカンボジア工場に移管
- ・表面処理の技術を強化

### ④ 新規製品の製造

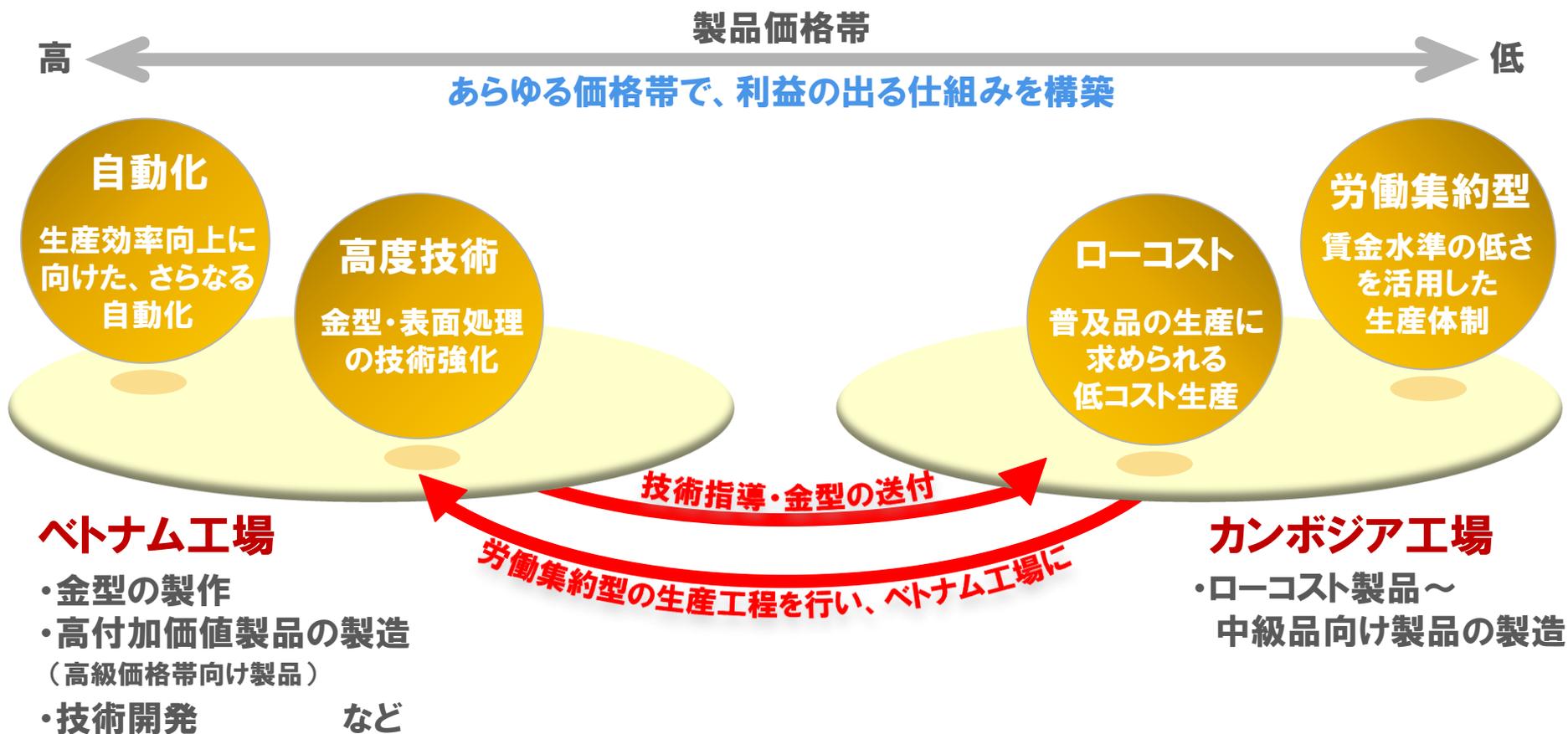
→ 顧客のニーズに応え、新たな製品分野にも進出

- ・時計関連、メガネフレーム以外への展開



# フェーズ 1 生産能力の増強 2工場の有機的な連携

ローコスト製品～中級品をカンボジア新工場に移管し、高級品、新製品をベトナム工場で製造。あらゆる価格帯の製品で「利益の出る仕組み」を導入し、売上高・利益の増加を図ります。



# 市場の変化が急速に進行

## 従来からのご説明

中国内の部品製造は、人件費高・元高などの要因で原価が上昇。価格上昇→競争力低下→廃業→供給力低下→価格上昇・・・という負の連鎖が起きている。

また、中国では高齢化等による熟練工の不足が深刻化。時計関連・眼鏡関連の部品工場が、相次いで倒産・廃業する状態も、それに拍車をかけている。

日系メーカーだけでなく欧米メーカーについても今後の供給リスク・価格アップリスクを予想して新たな部品調達先を検討・模索している。

## 現在の状況

当社の想定していたよりも急速に市場が変化

日系メーカー等は、調達先の検討・模索を行う段階から既に**実行段階**へ

## ◎ 時計関連

### 普及価格帯向け製品

- ✓ 部品調達先を、他社工場(中国)から当社グループに変更(増産依頼)

### 高価格帯向け製品

- ✓ 従来、中国で調達していた部品について、当社ベトナム工場での製造を打診(製造移管依頼)
- ✓ 今後の新製品の部品調達先として、当社ベトナム工場を選定(製造依頼)
- ✓ さらに高付加価値の表面処理技術の開発依頼(技術開発依頼)

## ◎ その他

- ✓ 金属加工部品を必要とする多様な製品メーカーから、部品製造の打診・試作品の依頼

# 変化への対応を行うため、設備投資の前倒しを決定 ①

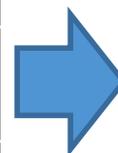
## ◎ 第三者割当増資の概要

払込期日	2014年11月21日	
発行新株式数	2,238,000株	
発行価額	1株につき134円	
資金調達額	299,892,000円	
割当予定先	(株)ジェンコ	1,119,000株
	キュキャピタルパートナーズ(株)	1,119,000株

市場の急速な変化に対応し、顧客需要に応えるため当初の予定を前倒しての設備投資を決定。

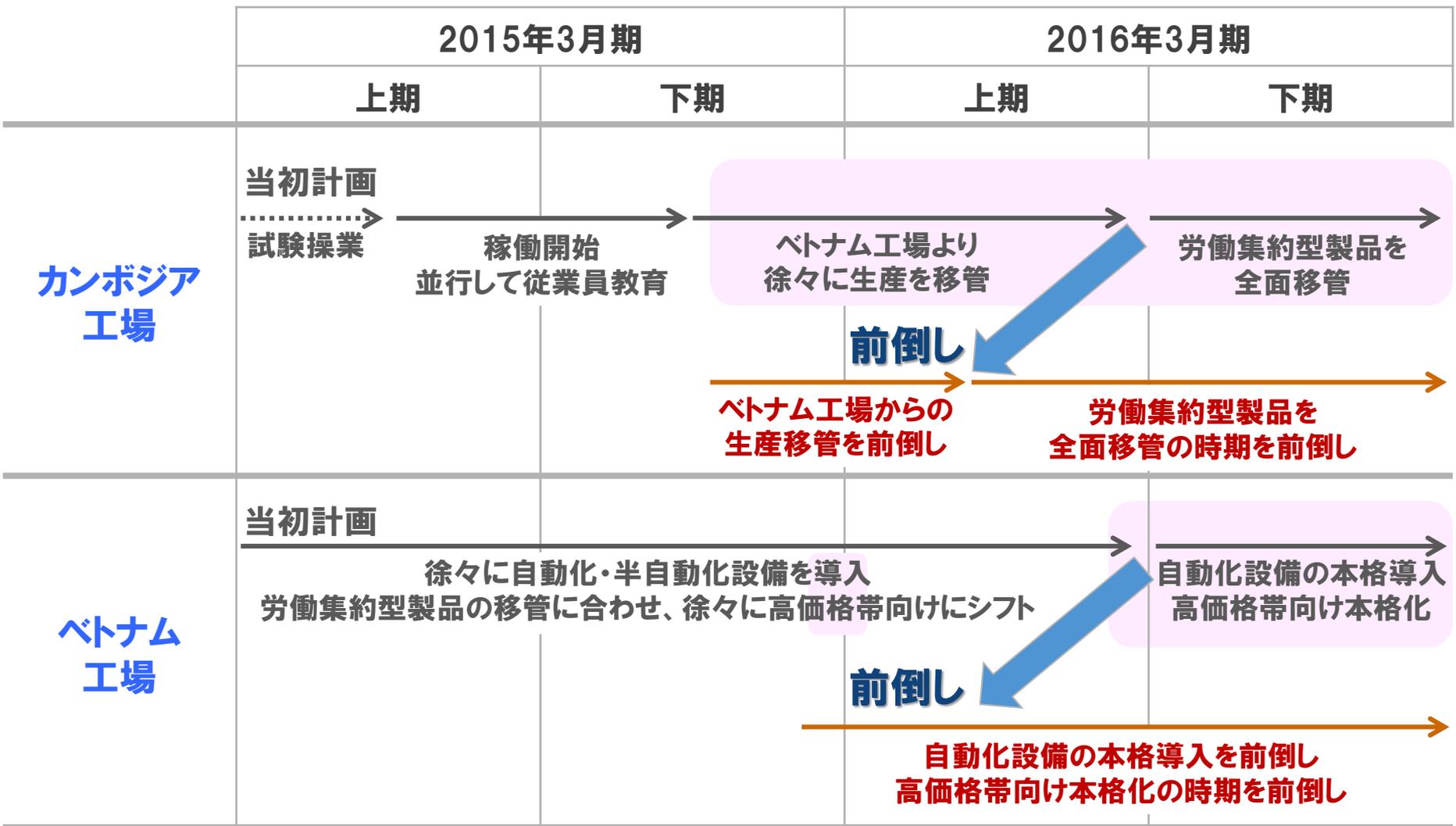
第三者割当増資を実施し、設備投資資金の調達をいたします。

## ◎ 資金使途



カンボジア工場の生産能力増強に向けた設備投資資金	
投資金額	33百万円
投資内容	真空焼入炉、プレス機
ベトナム工場の工場移転拡張に伴う設備投資資金	
投資金額	158百万円
投資内容	ロボドリル小型マシニング CNC旋盤 放電加工機 ワイヤーカット
売上増に伴う運転資金	
金額	106百万円

# 変化への対応を行うため、設備投資の前倒しを決定 ②



# 変化への対応を行うため、設備投資の前倒しを決定 ③

## ◎ 時計関連

### 普及価格帯向け製品

他社工場(中国)から  
当社グループに変更

販売好調による既存  
増産要請への対応

当社グループの売上増加

カンボジア工場に製造を移管することで...  
粗利額・粗利率が向上

### 高価格帯向け製品

他社工場(中国)から  
当社グループに変更

今後発売の新製品に  
ついて製造依頼

ベトナム工場の売上増加

高価格帯向けにシフトすることで...  
粗利額が向上

※設備投資の実施時期が、2015年2月以降であり、増産効果等が生じるのは来期以降となるため  
当期の業績予想に変更はありません。

※設備投資の実施により償却費等が増加いたしますが、利益についての影響度は、来期の業績予想の発表時に  
併せてお知らせいたします。

## フェーズ 2 サプライチェーンの構築

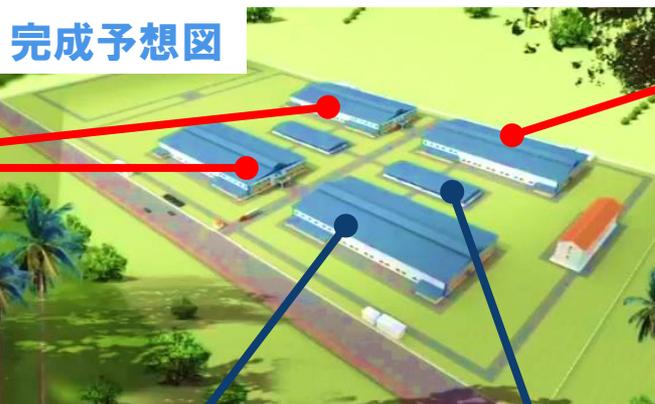
# サプライチェーン構想の実現に向けた準備も着々と進行中

敷地内に中国の協力工場を誘致し、一大サプライチェーンを構築。収益の大幅増を図る。

カンボジア新工場の129,600㎡に及ぶ広大な当社敷地内に、製造メーカーの苦境が続く中国内の当社協力工場を誘致し、一大サプライチェーンを構築する。

- ①時計製造に必要なあらゆる部品メーカーを敷地内に誘致
- ②当社工場を中心とした時計関連部品の一大サプライチェーンを構築
- ③カンボジア工場が、顧客の需要を取りまとめ一括受注
- ④検品業務等も含め顧客に一括して販売

1社の誘致工場が来年から稼働予定。残りの誘致工場も内定するなど着々と準備が進行中。



完成予想図

誘致工場

来年以降に建設  
(内定済み)

当社カンボジア工場  
(建設済:稼働中)

共用食堂棟  
(建設済)

誘致工場

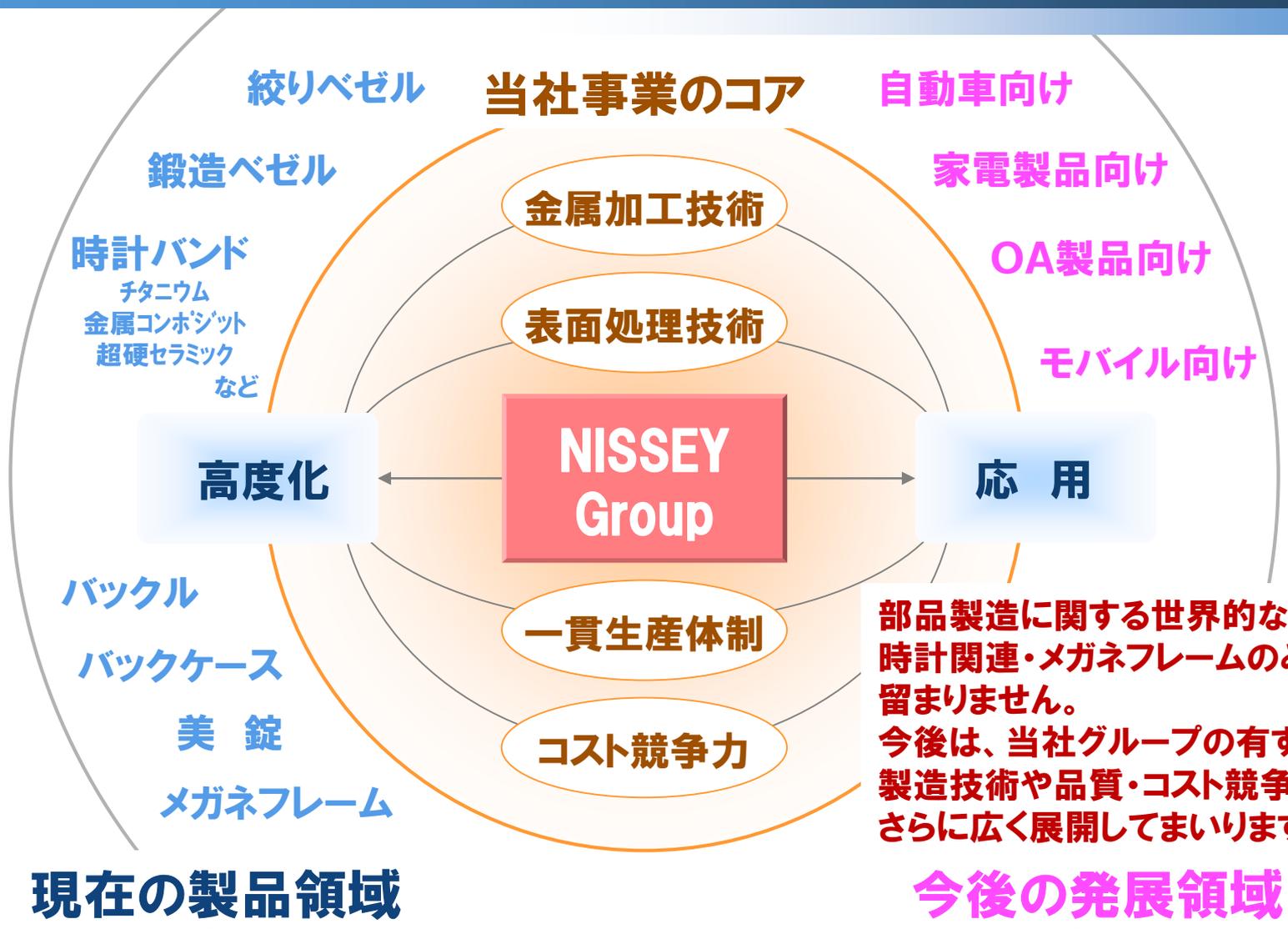
建設中  
来年稼働



現在の写真

※手前から順に、  
当社カンボジア工場、共同食堂棟  
誘致工場

# さらに、その先の成長へ向けての準備



部品製造に関する世界的な問題は、時計関連・メガネフレームのみに留まりません。今後は、当社グループの有する製造技術や品質・コスト競争力を、さらに広く展開してまいります。

# ASEANプロジェクトの推進による成長戦略を推進

## ASEAN地域を一体と考えた 戦略的生産体制を構築



### 本社(埼玉県川口市)

経営の根幹である経験豊富な人間力で、企画開発・販売計画など、全てを一元管理。また、一貫した経営管理によりコスト削減。

(株)村井:連結子会社

エヌエスジー(株):連結子会社

### 香港支店

ベトナムでの製造不可能な部品を低コストで中国より調達。また営業・販売の基点として重要な役割を今後も担う。

### NISSEY VIETNAM CO.,LTD.

- ◎時計外装部品等の製造
- ◎メガネフレームの製造
- ◎釣り具部品等の製造 他

### 高級品向け製品を製造

同時に、今後も当社グループの技術開発の中心としてさらに強化

### NISSEY CAMBODIA CO.,LTD.

- ◎時計外装部品等の製造

### 普及品～中級品向け製品を製造

将来的には、隣接地に協力工場等を誘致し、  
一大サプライチェーンを構築

# 中期経営目標

## 連結

単位:百万円	2014/3	2015/3 今期見込
売上高	7,054	7,877
■ 時計関連	4,521	5,046
■ メガネフレーム	2,188	2,450
■ その他	343	380
営業利益	134	189
経常利益	123	161
当期純利益	114	120

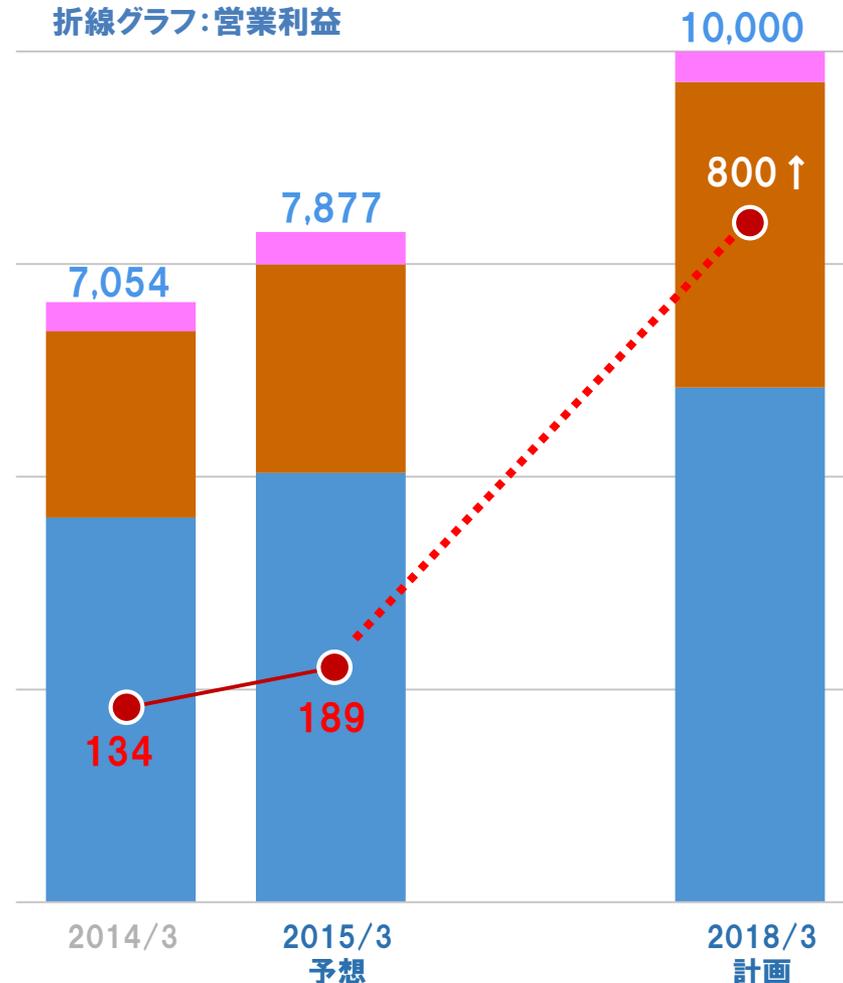
EPS	7.50円	7.56円
営業利益率(%)	1.8%	3.5%



2018/3 計画	10,000
	6,050
	3,590
	360
	800 + α
	700 + α
	600 + α

	34円 以上
	8%以上

棒グラフ : 売上高  
折線グラフ: 営業利益



CODE : 7771

**NI** NISSEY GROUP

日本精密株式会社



日本の“ものづくり技術”を世界へ。

Watch Band & Glass Frame

本資料は、2015年3月期第2四半期の業績概要および2015年3月期業績予想、並びに今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は注記のない限り2014年9月30日現在の決算データ及び直近の事業データに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。